

ヤマウチグループのCSR活動方針

ヤマウチグループは、グローバルな視点で、“企業の社会に対する責任”(CSR:Corporate Social Responsibility) を果たすために、以下の方針に基づいて行動する。

A. 組織統治

- 1.オープン、フェア、クリアな企業風土のもとに、社会的責任の7原則（説明責任、透明性、倫理的な行動、ステークホルダーの利害の尊重、法の支配の尊重、国際行動規範の尊重、人権の尊重）を順守し行動する。
- 2.自社の製品やサービスの提供を達成するために適性な戦略、目的、目標の立案実行を行う。
- 3.経営資源（財政、天然資源、人的資源）の効率的利用を行う。またBCP（事業継続計画）を策定し、事業継続上の対応を行う。
- 4.定期的な戦略、目的、目標の立案実行を行う。
- 5.自社の情報およびお客様の情報に対して、適正な管理を徹底する。
- 6.自社の定めたコンプライアンス管理規程に従い行動する。

B.人権の尊重

- 1.ヤマウチグループの人々の安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、すべての役員及び従業員の自主性と創造性の発揮できる豊かな個性を尊重する。
- 2.関係するすべての人々の人権を尊重し、人種、皮膚の色、性別、年齢、言語、国籍、宗教、障害、健康状態を理由にした差別を行わない。
- 3.苦情の解決のための窓口を設定し、苦情申告者への救済措置を取る。

C.労働慣行

- 1.関係する国の雇用関係法律を順守する。
- 2.労働条件法規制及び国際労働基準を順守する。
- 3.適正で社会的な労働組合との対話に努める。
- 4.労働における安全衛生の管理、向上に努める。
- 5.従業員の人材育成・訓練に努め能力の向上に努める。
- 6.従業員の満足度向上に努める。
- 7.従業員のライフプランの支援にあたる。

D.環境への配慮

- 1.環境汚染への対策を行い予防に努める。
- 2.環境関連法令の順守する。
- 3.省エネ、省資源、廃棄物削減、リサイクルを進め、温室効果ガス排出量の抑制に努める。

4.環境に関する情報の公開を行い、苦情処理に努める。

E.公正な事業慣行

- 1.法規制を遵守し公正な事業遂行を行う。
- 2.サプライチェーンにおける社会的責任の推進を行う。
- 3.財産権（土地、建物、設備等の物的所有権、特許等の知的財産権）を尊重する。

F.消費者（顧客）課題

- 1.適正な品質マネジメントシステムの運用を図る。
- 2.トレーサビリティの運用管理に努める。
- 3.顧客ニーズの把握に努め、製品、サービス提供による問題に的確に対応する。

G.コミュニティー参画および開発

- 1.積極的にコミュニティー参画を行い地域の社会貢献に努める。
- 2.雇用創出及び能力開発を行い地域の貧困緩和、経済的、社会的開発に努める。
- 3.コミュニティーの繁栄及び所得の創出に努め地域に貢献する。